第 44 回本部員会議資料
令和３年 11 月 22 日
保健福祉部医療政策室

新型コロナワクチン接種の進捗状況等について

１　県内のワクチン接種の進捗状況

11 月 17 日時点において、**12 歳以上人口**に占める**１回目接種率**は**約９割**となっており、**11 月中に希望する全ての県民への接種**が**概ね完了**する見込み。

【接種実績（11 月 17 日時点）】

接種済回数	１回目	２回目	県内の状況
1,946,860	997,927	948,933	・県内の 12 歳以上人口約 111 万７千人のうち、**１回目接種は 89.3%**、**２回目は 85.0%**が終了。 ・県内の全人口約 122 万１千人のうち、**１回目接種は 81.7%**、**２回目は 77.7%**が終了。

２　３回目接種体制の確保（12 月～１月までの接種体制）

⑴　本県の接種見込者数（２回目接種から概ね８か月以上経過の人数）　（単位：万人）

３回目接種時期 （２回目接種時期）	R3.12 月 （R3.3～4 月）	Ｒ４.１月 （Ｒ３．５月）	Ｒ４．２月 （Ｒ３．６月）	Ｒ４．３月 （Ｒ３．７月）	Ｒ４．４月 （Ｒ３．８月）
医療従事者	約 1.1	約 2.4	約 1.5	約 0.9	約 0.2
高齢者等	約 0.1	約 1.4	約 11.5	約 22.1	約 15.7
計	約 1.2	約 3.8	約 13.0	約 23.0	約 15.9

⑵　接種体制について（県医師会、市町村との調整結果）

市町村による「**①住民接種**」を基本としながら、医療機関が職員等へ接種を実施する「**②医療従事者接種**」を併用する枠組みで**12 月から接種を実施**するもの。

⑶　ワクチンの市町村配分について（R3.12～R4.3 月分）

ア　国の配分

本県には、**R３.12 月及びR４．１月**の２か月分として、ファイザー社ワクチンが 11/22 の週までに**45 箱、52,650 回分が配送予定。**

今後、国からは、**R４．２月分**及び**３月分について、ファイザー社**と**モデルナ社による必要量のワクチン**が**供給される見込み**。

イ　市町村への配分等

12 月上旬を目途に、**県が主体**となってワクチンの**配分調整**を実施。
（現在、市町村別の住所地外接種者数を把握中）

⑷　その他

ア　６か月経過した方への接種

国が示した方針に基づき、**８か月を経過した者への接種を基本**に進めていくが、**例外的な取扱い**となる**６か月を経過した者**への**接種**については、地域の感染状況、クラスターの発生状況などを踏まえ、市町村で実施を希望する場合は、**国に事前相談のうえ対応**。

イ　市町村における防寒対策の徹底と円滑な接種の推進

市町村に対し、接種会場までの**移動手段の確保**や**防寒対策の徹底**を依頼するとともに、円滑な接種を図るため、接種会場へのタクシー利用に要する経費に対する**県単独の補助の継続実施について検討**。

ウ　県による集団接種について

各市町村の接種見込回数や国からの**ワクチンの供給状況、交互接種の詳細、職域接種の方向性**などを踏まえ、今後検討。

３　12 月以降の未接種者に対する接種体制の確保

⑴　対象者

未接種の方で**接種を希望される方**や**新たに 12 歳**を迎える児童

⑵　接種体制

区分	市町村	県（接種センター）
設置場所	病院、診療所、指定接種会場等	**岩手県予防医学協会（盛岡市）**
ワクチン	**ファイザー社製**	**武田/モデルナ社製、アストラゼネカ社製**
主な対象者	・新たに 12 歳を迎える児童 ・療養その他の事情による未接種者、１回目のみ接種済みの転入者　等	・県集団接種や職域接種におけるモデルナ社製ワクチンの２回目未接種者 ・アストラゼネカ社製ワクチンの未接種者
実施体制	**・単独又は近隣市町村と連携**し、会場を確保のうえ、**月に１～２回程度実施**。	**・予防医学協会**にて、**月に１～２回程度実施**。
ワクチンの確保	・当面の間は、市町村間での融通調整を行ったうえで、未使用分を使用。 ・上記調整を踏まえ、随時、国に要望し、必要量を確保。	・予約状況を踏まえ、随時、国に要望し、必要量を確保。

４　小児（５歳～11 歳）への接種体制の準備

国では、小児に対する安全性・有効性が確認された新型コロナワクチンを使い、**早ければ令和４年２月**から接種を開始するとの方針を示しており、本県でも、**円滑かつ安全な接種体制**を確保できるよう、今後、**市町村や県医師会等と調整**。